

## 平成26年度第4回二宮町国民健康保険運営協議会会議録

日 時：平成27年 2月17日（火）19：00より

場 所：二宮町役場 第1会議室

出席者：二宮町国民健康保険運営協議会委員6名

事務局：健康福祉部長・保険医療課長・保険年金班長

傍聴者：2名

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

会長あいさつ

### 3. 議事

#### (1) 平成26年度二宮町国民健康保険特別会計補正予算第3号（案）について

事務局より内容説明

委 員：KDBシステムとはどのようなものですか。

事務局：平成26年（今年度）本稼働し始めたところで、K＝国保 D＝データ B＝ベースの略でKDBシステムとなっております。国保加入者のレセプトを全てデータベース化することによって、各種統計や分析等に利用するというものです。年明け1月に、やっと24年度からのデータが出揃いデータベース化が出来たと言う段階です。今後、色々な統計データを作っていくと言うものです。

委員全員賛成により、内容について了承。

#### (2) 平成27年度二宮町国民健康保険特別会計当初予算（案）について

事務局より内容説明

委 員：補正と予算の様式の違いについて、取り決めはありますか。

例えば、資料5ページの総務費が足し上げなければ合計額が分からない。

事務局：次回以降は款の計を入れた形で直させていただきます。ご指摘ありがとうございます。

委 員：説明の中で「例年とは少し違った形の当初予算見込となっている」とのこと

したが、具体的にどのあたりに違いがあるのでしょうか。

**事務局：**この形が良いと言うものがあるわけではありませんが、前段でも述べた国民健康保険財政調整基金（取崩や積立）を今までは当初予算の段階から取崩す予定として金額を入れさせていただいておりましたが、平成27年度については取崩し部分を入れさせていただいてはおりませんので、26・27年度を比較するとその分の記載が無くなり、全体では予備費等に影響が出ているものをこのような形で表現させていただいた次第です。

**委員：**医療費の低下により安定的な運営ができる見込みを立てたと言うことでしたが、医療費低下の要因は何か分析出来ていますか。

**事務局：**分析したいと思っはいるのですが、KDBなども本稼働したばかりでなかなか手持ちの資料では出来ていない状況です。

**委員：**現段階では分からないと言うことですね。これは非常に重要なことなので参考までにお聞き出来ればと思いました。

**事務局：**数値を見て安定してきているとは言えるのですが、それがどういう状態なのかと言う細かいところまでは分析しきれていないのが現状です。

委員全員賛成により、内容について了承。

### （3）今後に向けての課題整理

事務局より内容説明

**委員：**3回目までの会議で、もし税率アップをするのであればどの様な事をしていかなければならないかと言うことにかかなりの時間をかけて意見交換をしてきた。一般的に広報にのみやは読まれていると思うが、更にその内容をいかに読んでいただくか、文章は限りなく少なくしてイラストやグラフで分かりやすくと言う事をご検討いただきたい。いかにご理解いただいて目的を達するかと言うことで非常にPRが大切だと思います。

**委員：**私の感想は「歴史」とあるが昔の事を書かれても仕方がないと思う。もっと簡単に国民皆保険がいつから始まって、二宮町ではいつから始まって、その後老人医療制度とか介護保険や後期高齢者の変遷を経て現在の状況になっていまずと言う位で良いのではないか。それともう一つは、一般会計からの繰入を二宮町はしていないと言うのが特徴なのだから、国保加入率28%（3割弱）のためにサラリーマン等々健保加入者との均衡を保つためには、一般会計からの繰入はしていませんとはっきり出した方が良くと思います。そのために保険税が高くなっているわけだから、納得してもらわなければならないと思います。高いと言われるがそれが適正なのだから、そういう事を書いて知ってもらわなければならないと思います。更に新聞報道にもありましたが、保険者が町から

県になると言う事は確定だと思しますので、将来的に運営主体は町から県に変わる予定ですとの情報も入れておくべきだと思います。

**委員：**国保の事ではないのですが、子どもの医療費無償化と言うのを二宮町でもやっていますか。

**事務局：**はい。現在は小学6年生まで無料となっています。

**委員：**国保ではないけれども、町の施策としてPRして良いのではないかと言うのが感想です。

**事務局：**今後の県への広域化とあわせ各市町村の財政運営もまちまちのため、統一化された中で二宮町の特徴と言うのは今の段階で打ち出しておいても良いとは考えます。また、広報では基本的なことからお知らせした方が良いのかなと言うところもありますので、分かっている方には本当に初歩的であっても誰が見てもわかりやすい仕組みや実態を基調として段階的に掲載していければと思っています。また、誌面については制約もありますのでホームページなども使ってPRしていければと思っています。

**委員：**1ページ目、現状の最後に以前は2次予防に重点が置かれていたが最近では1次予防が注目されていると言う事なので、じゃあ、具体的にはと言う事になれば、もう少し1次予防のことを加えても良いのではないかと思うので、今後のPRを含めてご検討いただきたい。

**事務局：**今後、国民健康保険の分野で行うのか健康の分野で行うのかは別にして、同じ保険医療課ですのでそれぞれに焦点を当てていきたいと思っています。また、委員さんから資料提供いただいたもので新聞やマスコミ等で既に報道されているのでご存知の方もいらっしゃると思いますが、閣議で平成30年度に広域化で国保は都道府県に移管されるとのことです。国から3,400億円の財政基盤が図られるとの話ですが、この中で、どの様な配分で来るのかと言う事が一番注目されるわけです。

**委員：**記事の中では、国保の赤字とされるのは各市町村が保険料収入で賄えず一般会計から繰り入れている分とある。厚労省幹部は豊かな大都市が政策的に保険料を下げている分まで赤字に含められていると指摘している。3,400億円出してくれるのは良いが、その配分を一般会計からの繰入額に応じて配分されては二宮町を含め繰り入れる財政的余力の無いところは馬鹿を見ることになる。県内にも一般会計から繰り入れていない市町村は他にもあるので、そういうところと連名で県・国へ陳情するなり、国保の特性に応じた配分を要望していかないといけないと思います。

**事務局：**ご心配されるのはごもっともだと思いますが、まだ具体的な方針も示されてはおりませんが、今後調整交付金等の配分でその中のことも出てくると思います。また、委員さんが言われるような強いものではありませんでしたが、先日県への要望としては、医療費や財政力、被保険者数など色々なものを加味しながら

配分していただきたいと回答させていただきました。

**委員要望：**今後、ぜひ分析と遅れの無い様に、アンテナを高く張りながら進めていただければと思います。

他市町村の繰り入れ状況（報告）

**事務局：**基本的に一般会計から何千万単位で繰り入れている市町村は、医療費（保険給付費）の補填が大多数で、二宮町の様に基金を取り崩していくところもあれば既に基金が底をついているところや万一に備えられないと言う理由で一般会計から補填を受けていると言うところがほとんどでした。

※至った経緯については各保険者個別の理由・特性のため口頭報告のみ。

各市町損の収納率向上対策（報告）

**事務局：**収納率が上がってきているところについては、国保単独の収納対策班を設けているところや収納関係のスペシャリストの指導を受けながら徴収率アップを目指しているところもあり、徐々にですが結果が出始めている状況の様です。二宮町につきましては、前回は説明させていただきましたがなかなか国保単独でと言う訳にはいかないのので税務課の収納対策班がペナルティ的な差押等は国保も合わせてやっていただいているような状況です。

#### （４）その他

特になし

### ４．閉会

20時分05終了